

水深12m岸壁整備により陸上輸送コストが削減 物流拠点港へ大きな前進

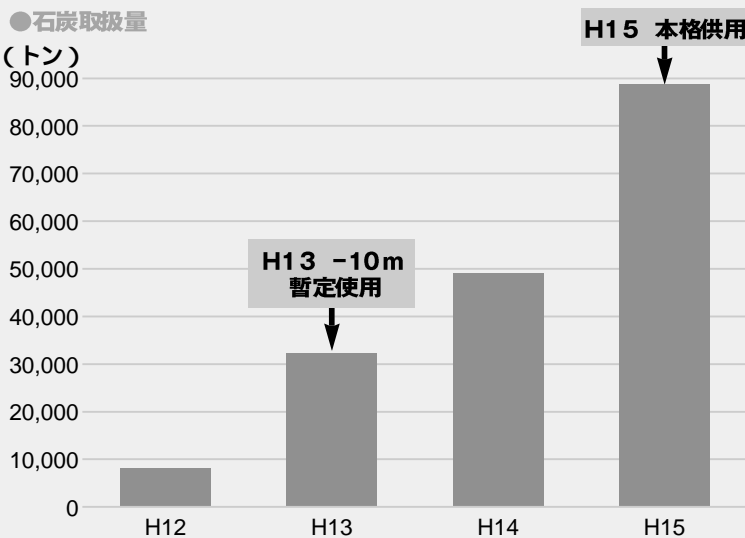
もんべつ
file05 **紋別港**

対象施設 港南地区多目的国際ターミナル 岸壁(-12m)
供用 平成13年

紋別港港南地区第3ふ頭北岸壁(-12m)の整備によって、従来は他港を利用して陸上輸送されていた石炭・原木等が、当港からの輸送が可能となったことから輸送距離が短縮され、年間約1億8000万円*の輸送コストが削減された。それによって、石炭の輸入量も大幅に増加している。

また、当港での係留施設不足による船舶の輻輳及びロシア船等の滞船が解消され、物流拠点港へ大きな一歩となった。

*北海道開発局算定



留萌港まで141km
↓
約45kmの陸上輸送コストの削減
↓
紋別港利用 95km

●第3ふ頭の荷役状況

